

壬生野地域まちづくり協議会
〒519-1424
伊賀市川東 4539 番地の 4
壬生野地区市民センター内
Tel 45-8900 ・ Fax 45-8901
E-mail tokimeki@ict.ne.jp
URL <http://www.mibuno.net>



☆わたしの安心シートについて

このたび、平成 24 年度伊賀市地域支え合い体制づくり事業を利用して、伊賀市に住所のある全戸に、一人暮らしの高齢者らを対象に、緊急連絡先やかかりつけ医などを記入し、緊急時や災害時の安心・安全への備えとするための専用容器と「わたしの安心シート」が配布されました。



「わたしの安心シート」とは、自分で気分が悪くなって救急車を呼んだとき、救急隊員や医療機関などがその情報を活用して迅速な救急医療活動等を行なえるように、シートに名前、生年月日、顔写真などの本人情報、かかりつけ医、緊急連絡先、持病や服薬などの情報を記載したシートを筒状のプラスチック容器(直径約 6 センチ、長さ約 20 センチ)に収め、自宅の冷蔵庫を保管場所とし、冷蔵庫の上部にマグネット、玄関扉内側の上部にシールを貼り付け、キットがあることを示しておくものです。また、災害時にも適正かつ迅速な処置の助けにもなります。

筒の中身は

- ・ わたしの安全シート(個人の情報)
- ・ かかりつけの医者
- ・ 薬剤情報提供書(写し)
- ・ 持病
- ・ 診察券(写し)
- ・ お薬手帳
- ・ 健康保険証(写し)など



◇餅つき・しめ縄づくり(世代間交流)

—川西区—

平成 12 年 12 月 9 日、川西公民館において、午前中は餅つきの会、昼食をはさんで午後はしめ縄づくりがありました。

餅つきは川西地区育成会の更生婦人会(金谷善智子会長)と保護者会(塚脇隆志 P T A 地区委員)と子どもたちで実施しています。

しめ縄づくりは、川西老人クラブ天寿会(中林功一会長)と保護者会、子どもたちで実施しています。

昼食には、つきたてのお餅(あんころ、おろし、きな粉、ふりかけなど)と栄養たっぷりの豚汁を満腹になるまでいただきました。

お餅つき



子どもたちも「ぺったんこ」



もちをふりかけにクルクツットまぶ



お話ししながら
いただいています！

しめ縄づくり



福永権也さんにご指導を仰ぐ
しめ縄づくり、しめ縄飾りについて
お話！！



お父さんも奮闘！！



お母さんと一緒に！！
どき

「こうするのよ！！」お母さんの手ほ

経費の一部は、歳末助け合い募金から、配分してもらっています。この募金は社会福祉協議会で集約され、要援護者の方へのゴミ袋配布《今年度は全戸に安心シート》、世代間交流事業、配食2か月無料事業、などに分配されています。「餅つき」「しめ縄づくり」についても世代間交流事業に申請をし、一部を還元してもらいました。

取材・文責（健康・福祉実行委員会 平地章昌）

□ 第2回環境セミナーに参加しました。

～さくらリサイクルセンターの見学報告～

1月26日（土）女性活動実行委員会と生活・環境実行委員会合同で、市が主催の環境セミナーの事業で、さくらリサイクルセンターの視察研修を行いました。

わたしたちの家庭から年々増え続け、排出される家庭ごみ（一般廃棄物）は、回収された後、どのように処理されるのを見届けたいとの思いで6名が参加しました。

清掃事業課の職員の方から、ごみの処理施設やその処理状況などの説明を受けたあと、プラスチック容器包装の処理施設を見学させていただきました。

パッカー車から降ろされたゴミ回収袋は手作業によって破袋され、ビニールひもや大きなゴミを除いて、ベルトコンベアーに乗せ流されます。流れてきたゴミ袋はコンベアー上の両側の4人～6人の手作業によってレジ袋に入ったものは袋を調べ、液体が残っている物、よごれた物やビン、ペットボトルが取り除かれ、その後、圧縮機にかけ30キログラム程（バナナ箱4個ほどの大きさ）に固められパレットに積んでいました。それを火力発電所に運ばれるそうですが、厳しいチェックがあり異物や汚れがあると出荷停止になることもあるので、丁寧に選別しているとのことでした。

わたしたちに出来ることは、容器は汚れを落とし、水を切ったあと乾燥させ、しっかり分別することだと思います。そうすることによって、人件費や機械の損傷も少なくなると思いました。

当日は、寒い中でも特に寒い日となり、あまり臭い wasn't でしたが、夏の暑い日などは嫌な臭いやハエなどを想像すると、作業にあっている方のご苦労がうかがえました。消費者はできる限りゴミの排出を抑制し、分別をしっかりとすることに努めなければならないと思いました。この施設を見学してみると、誰もがきっとそのよ



うに感じるのではないかと再認識したところです。

—生活・環境実行委員長 北出和美—



◇お知らせ

第8回伊賀学（観光・文化）検定について

日 時	平成 25 年 2 月 24 日（日）		
時間、場所	初級	13:30 ~ (30分)	ふるさと会館伊賀会議室(下柘植)、 ハイトピア伊賀3F(上野丸之内)
	中級	15:00 ~ (30分)	ハイトピア伊賀3F
	上級	15:00 ~ (45分)	ハイトピア伊賀5F
申込期限	平成 25 年 2 月 7 日（木）		
受験料	初級	1,500 円	中級 2,000 円 上級 3,000 円
申込先	伊賀市商工会	45 - 2210、	Fax 45-5307 (〒519-1412 伊賀市下柘植 723-1)

編集後記

インフルエンザの患者がさらに急増している。国立感染症研究所感染症情報センターによると、1月14~20日の週に全国約5000か所の定点医療機関を受診した患者数は1施設当たり22.58人で、前週の12.07人の2倍近くに増えた。この値をもとに推計した全医療機関の受診者数は約140万人で、今シーズン初めて100万人を超えた。推計患者数を年齢別に見ると、5-9歳が14.3%で最も多く、以下は30歳代が13.6%、0-4歳、10-14歳、20歳代、40歳代が各11.4%などと続いた。小児科を受診する14歳以下が占める割合は、前週の27.5%から37.1%に増加。小児にも感染が広がっている。流行の主流はA香港型で、全国的な流行が始まった昨年12月中旬以降に検出されインフルエンザウイルスのうち、90%以上を占めている。

医療介護CBニュースより

ご意見・お問い合わせ・投稿は、下記までお寄せ下さい。

壬生野地域まちづくり協議会 広聴・広報実行委員会 TEL: 45 - 8900

